

令和5年度 FD 実施計画書・報告書

令和6年4月

I 学部学科・研究科名

流通科学部・流通科学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組No.	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討 ・ アセスメントプランに基づく成果の検証と公表の開始	I-1-(1)	DP ルーブリックの策定と DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討については、新カリキュラムの検討と合わせる形で、進めていく予定である。当初の計画通りには十分実施できていない状況である。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリックの実効性検証	I-2-(1)	流通科学科の令和6年度のルーブリック導入率は、授業ルーブリック 49%、課題ルーブリック 26%であった。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 数理・データサイエンス・AI に関連する科目等の実施状況の振り返り及び拡大（情報教育センター・教養教育センター及び各学科へ検討依頼）	I-1-(4)	「データサイエンス入門」など数理・データサイエンス・AI に関連する科目を担当する教員を中心とした情報関連部門の教員がワーキング・グループを組織し、2025 年度以降の新カリキュラム運用に向け、DP/CP の見直しを進めている。
4	「成績評価ガイドライン」のポリシー策定 ・ 「成績評価ガイドライン」のポリシーの運用開始、実効性の検証	I-2-(2)	「成績評価ガイドライン」の学科としてのポリシー運用、実効性の検証には十分至っておらず、進行中である。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	流通科学科では、100 分授業の導入による授業改善に関する FD 研修会（6 月 29 日（木））や学生生活実態調査結果に係る考察・改善・成果に関する FD 研修会（11 月 2 日（木））などといった学科内 FD 研修会を計画通りに開催してきており、情報共有の場を推進させている。

取組№	B その他取り組み項目	B その他取り組み項目 達成内容
6	学生の学修環境向上への取組	令和5年度も「流通科学部 学部満足度調査（アンケート）」を実施する予定であり（卒業年次生は3月15日（金））、学修環境向上やDPへの反映も検討している。
7	アクティブラーニング等の推進	流通科学科では、企業や行政などと連携したアクティブラーニングを積極的に推進している。令和5年度も、すでに各教員から、ゼミ活動や授業を通じた充実したアクティブラーニングの成果が大学HPなどに多数報告されている。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

取組 No.	予定時期	内容
2 5	4 月	・2023 年度学部 FD 実施計画の確認(FD2022 とあわせて) ・授業ルーブリック、課題ルーブリックの推進 ・新任教員メンターの確認 ・新カリキュラムの検討
5 6	5 月	・100 分授業を導入した大学の授業改善の取組に関する FD ・新カリキュラムの検討
1 3	6 月	・DP ルーブリックの策定、アセスメントプランの検討 ・Society 5.0 の到来を備えた DP/CP の見直し
5 6	7 月	・100 分授業を導入した大学の授業改善の取組に関する FD ・新カリキュラムの検討
4	8 月	成績評価ガイドラインの策定
5 6	9 月	教員のハイブリッド型授業の実践を踏まえた取り組みに関する FD
5 6	10 月	ハイブリッド型授業やオンライン授業を踏まえた学生の満足度向上に向けた FD
7	11 月	アクティブラーニング等の推進
6	12 月	学生の学修環境向上への取組
1～7	3 月	・教員のハイブリッド型授業の仕組みを確立するために実践を踏まえた効果的な取り組みに関する FD ・2023 年度の総括

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
4 月 6 日	学科会議にて、2022 年度 FD 実施報告と 2023 年度 FD 実施計画を確認した。また、新任教員 2 名のメンターを確認し、学科会議後、新カリキュラムの検討を行った。授業ルーブリック、課題ルーブリックを学科として推進していくことも確認された。
6 月 29 日、5 月 11 日	100 分授業を導入した大学の授業改善の取組に関する FD については、講師の都合により、6 月 29 日(木)18 時より開催した。先行して 100 分授業を導入した西南女学院大学の授業改善の取り組み実態と課題を共有でき、有意義な FD 研修会となった。新カリキュラムの検討については、5 月 11 日(木)の学科会議の前後に行われた。
6 月 1 日	学科会議で、DP ルーブリックの策定、アセスメントプランの検討が確認された。また、学科会議と前後して、情報関連部門教員による WG で、Society 5.0 の到来を備えた DP/CP の見直しの検討が行われた。
7 月 6 日	学科会議で、100 分授業を導入した大学の授業改善の取組に関する FD 研修会(6 月 29 日開催)の振り返りを行った。また、新カリキュラムの検討を行った。
8 月 3 日	学科会議で、成績評価ガイドラインポリシーの策定の検討が確認された。新カリキュラムの検討と並行して行っており、同ポリシーの策定・実効性の検証には至っていない。
11 月 2 日	学生生活実態調査結果に係る考察・改善・成果に関する FD 研修会を開催し、教員のハイブリッド型授業の実践を踏まえた取り組みについて検討を行った。
11 月 2 日	学生生活実態調査結果に係る考察・改善・成果に関する FD 研修会を開催し、ハイブリッド型授業やオンライン授業を踏まえた学生満足度向上に向け検討を行った。
4～1 月	各教員によりゼミや授業を通じた産学官連携を主としたアクティブラーニングが積極的に推進されている。
1、2 月中 3 月 15 日	卒業年次生については、主に学位記授与式終了後のゼミ懇談会でアンケートを実施。
3 月 7 日	教員のハイブリッド型授業の仕組みを確立するために実践を踏まえた効果的な取り組みに関する FD および 2023 年度の総括を実施した。